

日常の危機

霜月某日、定時に家を出ました。雨のせいか、車の台数が多いと感じました。雨の日は、荒っぽい運転をする人もいます。注意しながら運転しなくてはと自分に言い聞かせました。ニッポン放送の「あさラジ」の「あさナビ」を聴いて運転していました。千葉南税務署前の「生実踏切」で一時停止後、踏切を進み始めた時でした。警報機が「カンカンカン」と鳴り始めました。私の車は、前のバスがいつも通りに走り抜けると考えましたが、モタモタしていて停止しました。その間も警報機は「カンカンカン」と急か

すように鳴り響きます。どうしよう、この上り車線に乗り入れたままなら、「死ぬ」かもしれないという恐怖が一刹那頭をよぎりました。上り電車は、私の車側を通り抜けていくことが、右前方の赤く点滅する矢印から分かりました。遮断機が下り始めたその時、ようやくバスがノロノロ動き始めました。前進か、後進か、危機的状況が迫り来る中で一瞬迷いました。その時、後ろの青い車が右脇を閃光のように走り抜けて行きました。私は遮断機の鞭打ちに合いながらバックしました。停止と同時に轟音を上げて電車が通過しました。危機一髪、九死に一生を得た思いでした。日常の危機は何処にでも潜んでいるのです。

◎12月の言葉

成功への最善の方法は努力を継続することである。

○四字熟語シリーズ4

正しい意味は次のどれか。

①起死回生↓A繰り返すことB蘇ることC生まれて死ぬこと

②汗牛充棟↓A来客が多いことB財産が多いことC蔵書が多いこと

③旧套墨守↓A長大な旧跡をつぶすことB古い歴史の一部を改ざんすることC古い慣習等を頑固に守って改めないこと

④軽拳妄動↓A言うことがでたらめで根拠のないことB軽はずみで分別のない行動を取ることC勝手気ままに振る舞うこと

⑤行雲流水↓A自然の成り行きに任せて事を運ぶことB雲が行き水が流れる美しい自然の例え

C自然の中に身を置き、心をきよめること

(解答) ①B ②C ③C ④B

⑤A